



# 平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス  
 コード番号 3165 URL <http://www.fuco-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

(氏名) 武石 健次  
 (氏名) 藤田 和弘

TEL 03-3254-5361

配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第3四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	42,169	△34.6	△196	—	△31	—	△33	—
28年9月期第3四半期	64,516	△14.6	△434	—	70	△94.2	42	△94.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△13.55	—
28年9月期第3四半期	17.37	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	19,912	6,351	31.9
28年9月期	19,749	6,450	32.7

(参考)自己資本 29年9月期第3四半期 6,351百万円 28年9月期 6,450百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△23.8	120	—	100	—	70	—	28.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期3Q	2,529,100 株	28年9月期	2,529,100 株
29年9月期3Q	67,739 株	28年9月期	67,688 株
29年9月期3Q	2,461,382 株	28年9月期3Q	2,461,412 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成28年10月1日～平成29年6月30日)における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続きましたが、中国及び新興国における経済成長ペースは鈍化しております。また、米国のトランプ新政権の諸政策に対する不透明感が払拭されない中で、北朝鮮情勢の緊張感も高まっており、さらに不確実性が増しております。わが国経済もその影響を受け、先行きが懸念される状況であります。

当社が参入しております電子部品業界は、車載用途向け電子部品の市場は堅調を維持しているものの、スマートフォン市場の伸びが鈍化しております。

このような環境の中、当社におきましては、既存取引の強化及び新規事業の推進や取扱い商品の拡大に取り組み、業績の向上を目指してまいりましたが、LCDモジュールの売上が大幅に減少し、スマートフォン向け半導体の売上也減少いたしました。

この結果、売上高は421億69百万円(前年同四半期比34.6%減)となり、前年度の円安時に仕入れた製品の販売による利益率低下のため、営業損失が1億96百万円(前年同四半期は営業損失4億34百万円)発生しました。円安による為替差益が2億39百万円発生したことなどにより、経常損失は31百万円(前年同四半期は経常利益70百万円)、四半期純損失は33百万円(前年同四半期は四半期純利益42百万円)となりました。

当第3四半期累計期間における事業部門別概況は以下のとおりであります。

#### ① 半導体事業

半導体事業は、白物家電、車載用途向け半導体の需要は引き続き好調に推移いたしました。一方で、当社取扱い商品が採用されているスマートフォンの販売が鈍化傾向にあった影響を受け、売上は減少いたしました。

この結果、売上高は197億78百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

#### ② LCDモジュール事業

LCDモジュール事業は、競合他社である韓国・中国勢との価格競争の激化や、当社取扱い商品が採用されているモデルの量産中止などから、売上は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は37億46百万円(前年同四半期比85.3%減)となりました。

#### ③ パネル事業

パネル事業は、国内パソコン市場の縮小傾向が続く中で、顧客・仕入先との緊密な連携を維持し顧客の需要の変動に対応できたことにより売上の減少を最小限に抑えることができました。デスクトップモニター及びパブリックディスプレイ市場においては大型・高精細・高付加価値モデルの拡販に注力し、堅調に推移いたしました。また、市場の拡大が続くデジタルサイネージのパブリックディスプレイ市場において新たにラインアップされたビデオウォールタイプのパネルと大型パネル販売が順調に伸び売上に寄与しました。

この結果、売上高は178億10百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。

#### ④ 電子材料事業

電子材料事業は、有機ELパネル用封止剤においては顧客の有機ELパネルの販売不振から需要を伸ばすことができず大幅に減少いたしました。また、スマートフォン用Li-ion(リチウム・イオン)バッテリーセルは、新機種への採用に間に合わず大幅な売上減少となりました。

この結果、売上高は8億34百万円(前年同四半期比27.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、199億12百万円（前事業年度末比1億63百万円増）となりました。

増加の要因は、流動資産69百万円の減少と固定資産2億32百万円の増加によるものであります。流動資産の減少の内訳は、売掛金が4億83百万円、商品が1億28百万円減少したこと、その他が6億19百万円増加したこと等であります。固定資産の増加の内訳は、投資その他の資産が2億36百万円増加したこと等であります。

当第3四半期会計期間末の負債は、135億60百万円（前事業年度末比2億61百万円増）となりました。

増加の要因は、流動負債3億67百万円の増加と固定負債1億5百万円の減少によるものであります。流動負債の増加の内訳は、短期借入金が21億90百万円減少しましたが、買掛金が25億55百万円増加したこと等であります。固定負債の減少の内訳は、長期借入金が90百万円減少したこと等であります。

当第3四半期会計期間末の純資産は、四半期純損失により利益剰余金が33百万円減少したこと、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少が86百万円あったこと等により、63億51百万円（前事業年度末比98百万円減）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

今後の経済情勢及び業績の推移により、通期の業績見通しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,408,955	1,331,398
売掛金(純額)	9,531,138	9,047,617
商品	5,162,858	5,034,592
その他	835,490	1,454,918
流動資産合計	16,938,442	16,868,526
固定資産		
有形固定資産	2,540,428	2,535,809
無形固定資産	7,725	9,105
投資その他の資産	263,164	499,342
固定資産合計	2,811,318	3,044,257
資産合計	19,749,760	19,912,783
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,195,091	4,750,931
短期借入金	9,352,800	7,162,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	413	30,113
賞与引当金	39,556	19,516
役員賞与引当金	20,000	—
その他	83,911	97,014
流動負債合計	11,811,773	12,179,575
固定負債		
長期借入金	780,000	690,000
退職給付引当金	94,175	102,940
役員退職慰労引当金	352,834	365,240
資産除去債務	30,652	33,448
その他	229,668	189,744
固定負債合計	1,487,329	1,381,373
負債合計	13,299,103	13,560,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,450	550,450
資本剰余金	2,382,670	2,382,670
利益剰余金	3,549,608	3,430,117
自己株式	△41,153	△41,201
株主資本合計	6,441,576	6,322,036
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,080	29,798
評価・換算差額等合計	9,080	29,798
純資産合計	6,450,657	6,351,834
負債純資産合計	19,749,760	19,912,783

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	64,516,021	42,169,863
売上原価	63,821,756	41,473,496
売上総利益	694,265	696,367
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	416,189	364,156
退職給付費用	24,605	17,123
役員退職慰労引当金繰入額	26,518	12,406
賞与引当金繰入額	20,822	19,516
その他	640,906	479,484
販売費及び一般管理費合計	1,129,042	892,686
営業損失(△)	△434,777	△196,319
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,757	3,174
為替差益	481,688	239,757
匿名組合投資利益	78,782	—
その他	32,323	37,020
営業外収益合計	596,552	279,952
営業外費用		
支払利息	58,759	78,127
支払手数料	7,478	26,965
売上債権売却損	24,707	9,751
その他	44	158
営業外費用合計	90,989	115,002
経常利益又は経常損失(△)	70,785	△31,369
特別損失		
投資有価証券評価損	4,100	—
会員権評価損	—	300
特別損失合計	4,100	300
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	66,685	△31,669
法人税、住民税及び事業税	10,283	7,334
法人税等調整額	13,647	△17,127
過年度法人税等	—	11,465
法人税等合計	23,931	1,672
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,754	△33,342

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、「電子部品関連事業」以外の重要なセグメントがないため、記載を省略しております。



3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。